

交付運用報告書 2021年7月期（2020年8月1日～2021年7月31日）

i シェアーズ MSCI コクサイ ETF
iShares MSCI Kokusai ETF

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア籍法定トラスト

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、i シェアーズ MSCI コクサイ ETF（以下「ファンド」といいます。）の受益証券は、このたび、2021年7月期の決算を行いました。ファンドの投資目的は、日本を除く先進国市場の株式により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年7月末日

1口当たり純資産価格（基準価格）	96.92米ドル
純資産総額	484,592,285米ドル
2021年7月期（2020年8月1日～2021年7月31日）	
トータルリターン	36.01%
1口当たり分配金額	1.422357米ドル

（注）1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

ファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、取次証券会社までお問い合わせください。

<その他記載事項>

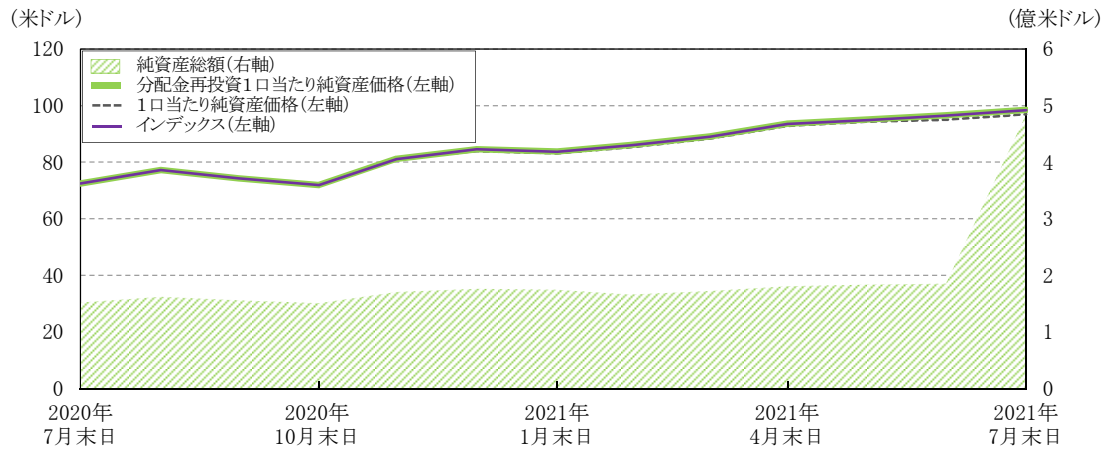
交付運用報告書および運用報告書（全体版）はブラックロック・ジャパン株式会社のウェブサイト（<https://www.blackrock.com/jp/>）の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

トラスト：

i シェアーズ・トラスト

《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について



2020年7月末日現在の1口当たり純資産価格：72.42米ドル

2021年7月末日現在の1口当たり純資産価格：96.92米ドル

(1口当たり分配金額：1.422357米ドル)

トータルリターン：36.01%

- (注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。
- (注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- (注3) ファンドのインデックスは、MSCI コクサイ・インデックス (MSCI Kokusai Index) (以下「インデックス」といいます。)です。
- (注4) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2020年7月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- (注5) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮していません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。

1 口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

グローバル市場概観

2021年7月31日に終了した年度（以下「当年度」）のグローバル株式市場は、大きく上昇しました。先進国および新興国市場の両方を含む広範なグローバル株式インデックスである MSCI ACWI は当年度において米ドル建てで 33.18% のリターンとなりました。株価は、新型コロナウイルスの感染拡大による当初の影響から回復を続け、当年度末までに史上最高値に近づきました。経済の再開は世界経済の大幅な拡大につながり、新型コロナウイルス・ワクチンの開発および普及により投資家の楽観的な見方が高まりました。それにもかかわらず、ワクチン接種率は国によってかなり異なり、より伝染性の高いデルタ変異株の蔓延により、当年度末にかけて感染者数が増加し、再び規制が敷かれました。

米国の株式市場は、財政・金融刺激策と現在進行中の集団ワクチン接種プログラムに支えられ、大きく上昇しました。当年度において米国議会で可決された2つの財政刺激法案は、個人への直接現金給付、税額控除、州・地方政府への援助、ならびに住宅所有者および賃貸業者への支援という形で大きな救済策となりました。個人所得は財政刺激策による現金給付を受けて大幅に増加し、消費者支出は回復し、当年度末までにパンデミック前の水準を上回りました。個人消費の増加とパンデミック関連の規制の緩和により、2020年上半期のパンデミックによる景気後退から活動が回復基調となったことから、米国経済は2020年第3四半期には年率33.8%という記録的なペースで成長しました。当年度の残りの期間において成長率は緩やかなペースで伸び、最終的に2021年第2四半期にパンデミック前の生産レベルを上回りました。米国連邦準備銀行（以下「Fed」）の行動も景気回復に大きな役割を果たしました。金融政策は引き続き緩和的であり、融資を促進し経済活動を活性化させるため、短期金利はゼロ付近に維持されました。さらに Fed は、米国債およびモーゲージ担保証券を対象とした無制限のオープンエンド型債券購入プログラムを継続することによって、債券市場の安定化を図りました。

欧州の株式は、他の主要国に比べて回復が遅れたものの、力強い利益を記録しました。欧州中央銀行（以下「ECB」）は超低金利を維持し、大規模な債券購入プログラムを継続する金融刺激策を実施しました。2020年第3四半期には、規制が緩和され、またユーロ圏諸国が7,500億ユーロ規模の景気刺激策に合意したことで反騰し、再び成長に転じました。しかしながら2020年10月に再度新型コロナウイルスの感染拡大の波が来たことで再び規制が敷かれ、辛うじて回復基調だった株価は低調となりました。その結果、世界の多くの地域が再び成長に転じつつある中で、2020年第4四半期および2021年第1四半期のユーロ圏の経済はわずかに縮小しました。多くの欧州諸国では最初のワクチン普及が遅れましたが、当年度終わりにワクチン接種のペースが加速し、2021年第2四半期に経済成長に転じました。

アジア・太平洋地域の株式も、経済活動が急速に回復する中、大幅に上昇しました。アジア・太平洋地域の多くの国が主要な貿易相手国である中国に依存しているため、中国の力強い経済成長は地域経済の回復を支えました。日本とオーストラリアの株式は、世界貿易が復活する中、輸出が急増したことによる恩恵を受けました。新興市場の株式は、景気回復と比較的弱い米ドルに後押しされて、全体的に上昇しました。しかし、増加する政府による規制の動きに対する投資家の懸念は、当年度終わりに中国株を押し下げました。アジアの一部でのワクチン普及が比較的遅いことも、特にデルタ変異株の拡大に伴う懸念材料となりました。

1. 運用の経過

iシェアーズ MSCI コクサイ ETF

2021年7月31日現在のファンド概要

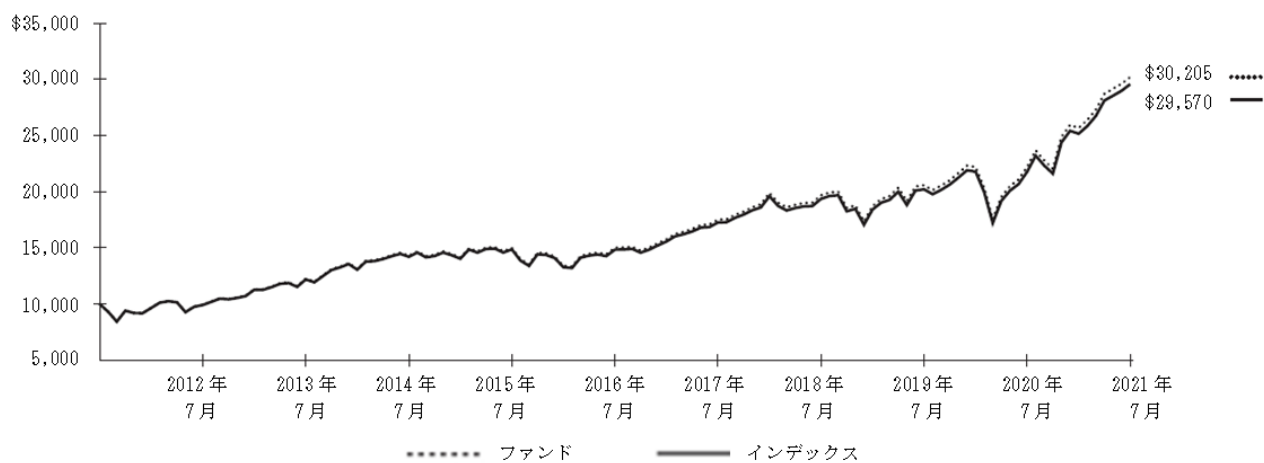
投資目的

iシェアーズ MSCI コクサイ ETF（以下「ファンド」）は、MSCI コクサイ インデックス（以下「インデックス」）に代表される、日本を除く先進国の株式で構成されるインデックスと同等の投資成果をあげることを目指しています。ファンドは、全体としてインデックスと同様の投資特性を有する、インデックスに含まれる代表的な構成銘柄を組入れています。代表的な構成銘柄の組入れにより、ファンドはインデックスに含まれる銘柄のすべてを保有する場合もあれば、しない場合もあります。

パフォーマンス

	年間平均トータルリターン			累積トータルリターン		
	1年	5年	10年	1年	5年	10年
ファンドのNAV	36.01%	15.01%	11.69%	36.01%	101.21%	202.05%
ファンドの市場	35.82%	15.00%	11.48%	35.82%	101.17%	196.50%
インデックス	35.81%	14.78%	11.45%	35.81%	99.24%	195.70%

10,000 米ドル投資の純資産価額の推移



一部のセクターおよび市場では、1年間の市場環境に基づいて群を抜いた好パフォーマンスを示しました。このような群を抜いた好リターン達成にはボラティリティー・リスクが伴い、投資家はこのような群を抜いた好リターンが繰り返されることを期待できません。

過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。運用パフォーマンスの結果は、ファンドの分配時あるいはファンド受益証券の償還時または売却時に受益証券保有者が支払う可能性のある税金の控除を反映していません。

費用例

実績値			5%の仮説リターンに基づく仮定値			
口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 支払額 ^(a)	口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 支払額 ^(a)	費用比率 (年率)
2021年2月1日	2021年7月31日		2021年2月1日	2021年7月31日		
1,000.00 米ドル	1,176.00 米ドル	1.35 米ドル	1,000.00 米ドル	1,023.60 米ドル	1.25 米ドル	0.25%

^(a) 費用は、当期間中の口座の平均価額に、ファンドの年率換算された費用比率（上記の表に開示される通り）および当期間中の日数（181日）を乗じ、当年度の日数（365日）で除すことによって算出されています。売買委託手数料および金融仲介業者へのその他の手数料など、上記の表や例には反映されないその他の手数料が支払われる場合があります。

ポートフォリオ管理の説明

積極的なワクチンの普及が成長を促進し、失業率を低下させ、パンデミックによる景気後退の深刻度を軽減したため、日本を除く先進国市場株式は当年度において大幅に上昇しました。インデックスのリターンに最も貢献したのは米国株式であり、情報技術セクターが上昇を牽引しました。消費者と企業の両方の情報技術関連支出の回復は、技術製品とサービスの導入が加速したことと相まって、このセクターの堅調な増益につながりました。米国の労働者の大半が在宅勤務となり、多くの家庭の子どもたちがオンラインで学習しているため、クラウド・コンピューティングやビジネス向けのインフラおよびセキュリティソフトの需要が急速に伸び、ソフトウェアおよびサービス業界の上昇を支えています。また、リモートワークやリモート授業により、パーソナルコンピュータや周辺機器の購入が牽引され、データストレージ関連機器の需要も高まったことから、テクノロジーハードウェア・機器産業もインデックスのリターンに貢献しました。

米国の金融関連銘柄は米国経済とともに反発し、インデックスのリターンに貢献しました。各種金融産業は、堅調な小売関連銘柄の取引と活発な買収活動の中での投資銀行業務からの好調な収益による恩恵を受けました。

オンライン広告は、電気通信サービス・セクターの増収増益につながりました。広告主は、消費者の在宅エンターテインメント製品の利用増加に追随するため、オンライン支出を増やしました。

個人消費の回復は一般消費財セクターの株式に恩恵をもたらしました。売上高は、ほぼすべてのカテゴリーの小売業者でパンデミック前の水準を上回りました。来店客数の増加と店頭価格の上昇は専門小売業者の利益を牽引し、Eコマースの成長はインターネット小売業者を引き続き支えました。また、購入者の電気自動車への移行が進むにつれて、自動車メーカーの利益は増加しました。

英国とフランスの株式もインデックスのリターンに貢献しました。活動再開の動きにより住宅ローンの需要が増加し、政府の救済プログラムと相まって経済見通しが改善したことにより、信用損失の懸念が緩和されたため、英国の銀行の利益は急増しました。フランスでは、耐久消費財セクターが海外の高級品需要の増加に伴って貢献しました。

ポートフォリオ情報

セクター別内訳

セクター	総投資比率 ^(a)
情報技術	23.1%
金融	13.6
ヘルスケア	13.0
一般消費財	11.3
資本財	9.7
通信サービス	9.2
生活必需品	7.0
素材	4.4
エネルギー	3.1
公益事業	2.9
不動産	2.7

組入上位 10 地域

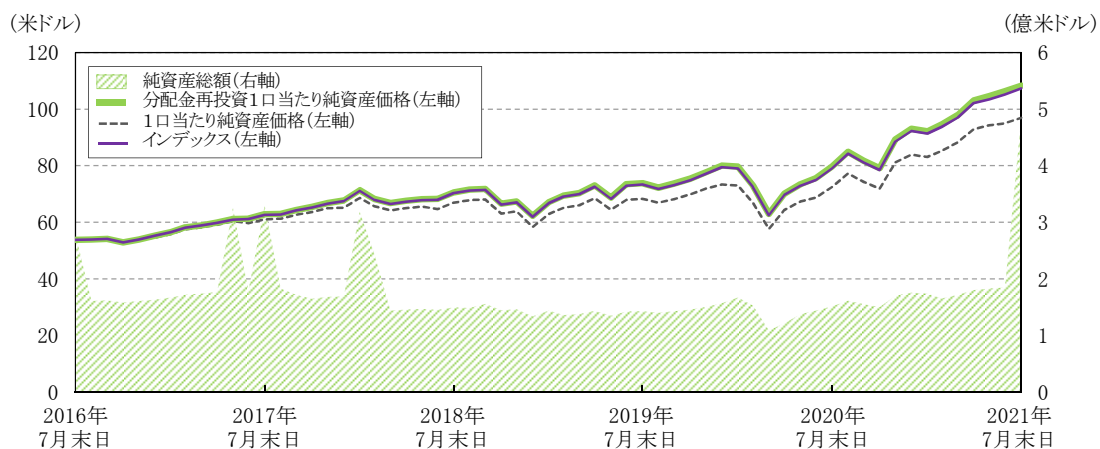
国/地域	総投資比率 ^(a)
米国	71.7%
英国	4.0
カナダ	3.6
フランス	3.5
スイス	3.2
ドイツ	2.9
オーストラリア	2.5
オランダ	2.0
スウェーデン	1.1
香港	0.9

(a) マネー・マーケット・ファンドを除く。

費用の明細

項目	項目の概要	
投資顧問報酬	平均日次純資産総額の年率0.25%	ファンドに提供する投資顧問サービスの対価
その他の費用	0%	専門家報酬、その他

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

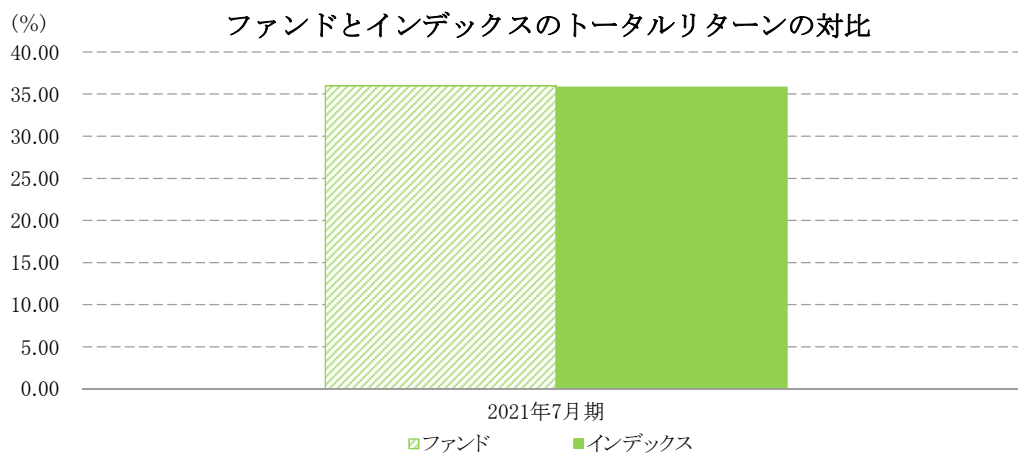


	2016年 7月末日	2017年 7月末日	2018年 7月末日	2019年 7月末日	2020年 7月末日	2021年 7月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	53.85	61.10	66.90	68.33	72.42	96.92
1口当たり分配金額 (米ドル)	—	1.603352	1.704546	1.503391	1.288798	1.422357
ファンドのトータル リターン (%)	—	16.62	12.38	4.59	7.94	36.01
インデックスのトータル リターン (%)	—	16.30	12.17	4.38	7.73	35.81
純資産総額 (千米ドル)	280,040	329,938	147,181	143,483	152,085	484,592

(注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。

(注2) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2016年7月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

ベンチマークとの差異について



分配金について

当期（2020年8月1日～2021年7月31日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 ^(注2)
2020年12月14日	81.61	0.684568 (0.83%)	14.53
2021年6月10日	94.52	0.737789 (0.77%)	13.65

(注1) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

$$\text{対1口当たり純資産価格比率 (\%)} = 100 \times a / b$$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

(注2) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

$$\text{分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額} = b - c$$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注3) 2020年12月14日の直前の分配落日（2019年6月15日）における1口当たり純資産価格は、67.76米ドルでした。

《今後の運用方針》

引き続き、インデックスのパフォーマンスと密接に連動した投資成果を提供することを目指し、ファンドの運用を行う予定です。

《お知らせ》

該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	米ドル建て／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドの投資目的は、日本を除く先進国市場の株式により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。
主要投資対象	ファンドは通常、その資産の80パーセント以上をMSCIコクサイ・インデックス(MSCI Kokusai Index) (以下「インデックス」といいます。)を構成する有価証券、およびこれと実質的に同様の経済的特性を有する証券に投資します。
運用方法	ファンドは、MSCI Inc.が日本を除く先進国として分類した国々の株式市場の実績を測定するよう構成されたインデックスに連動する運用成果を追求します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの投資目的を達成するために、「パッシブ」またはインデクシング・アプローチを使用します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの運用につき代表サンプリング戦略を使用します。代表サンプリングとは、全体としてインデックスの代表サンプルと類似する投資プロファイルを有する証券の代表サンプルに投資する指数戦略をいいます。
投資制限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 投資を集中させること(すなわち、全資産の25パーセント以上を特定の産業または産業グループの証券に投資すること)。但し、ファンドは、インデックスが特定の産業または産業グループに証券を集中させる程度とほぼ同程度に投資を集中させます。かかる制限の目的上、米国政府(その支分機関および系列機関を含みます。)の証券、米国政府証券の担保付き買戻契約および州または地方自治体もしくはその政府当局の証券は、いかなる産業の構成員から発行されたものとして解釈されません。 2. 借入を行うこと。但し、(i)ファンドは、これを行わなければ時機を失した証券の処分を要することとなる買戻請求に対応することを含む臨時または緊急目的(レバレッジ目的を除きます。)で銀行から借入を行うことができ、(ii)ファンドは、その投資方針と合致している限り、買戻契約、逆買戻契約、先送り取引、およびこれらと類似する他の投資戦略および技術を履行することができます。(i)および(ii)の取引を行う場合に限り、当該取引からファンドは総資産(借入額を含みます。)の33⅓パーセント以上を取得してはならないという制限が課されます。当該金額を超過する借入は、適用法に基づき縮減されます。 3. 優先的受益証券を発行すること。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。 4. 貸付を行うこと。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。 5. 不動産、不動産抵当、商品、商品契約を売買すること。但し、かかる制限は、証券もしくはその他の証券を所有した結果として取得すること(不動産事業に従事する会社の証券または不動産もしくはモーゲージにより担保された証券もしくはその他の証券への投資を含みます。)またはファンドが先物契約および先物契約のオプションを取引すること(ファンドの投資目的および投資方針と合致している限り、為替オプションを含みます。)を禁止するものではありません。 6. 他の者が発行した証券の引受業務に携わること。但し、ポートフォリオ証券の処分により、ファンドが、厳密には、米国1933年証券法における引受人とみなされる場合を除きます。
分配方針	純投資収益からの分配金(もしあれば)は、最低でも毎年宣言され、ファンドから支払われます。証券の実現純収益(もしあれば)の分配は、通常年に一回宣言され、支払われますが、トラストは、ファンドに関してより頻りに分配を行うことができます。ファンドの登録投資会社としての地位を維持するため、または、分配されない収益または実現利益に所得税もしくは消費税が賦課されることを回避するために必要または望ましいとファンドがその合理的裁量により決定した場合、臨時分配金を宣言する権利を有します。

《ファンドデータ》

組入資産の内容（2021年7月期末現在）

組入上位資産

(注) 組入上位銘柄および組入銘柄数は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。組入銘柄の詳細は、運用報告書（全体版）の「IV. 投資有価証券の主な銘柄」を参照ください。

組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分

(注1) ファンドの組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため記載することができません。

(注2) ファンドの組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

2021年7月期末	
1口当たり純資産価格	96.92米ドル
純資産総額	484,592,285米ドル
発行済口数	5,000,000口

2021年7月期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
3,050,000	150,000	5,000,000

本報告書に記載の「1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて」は、ファンドのアンニュアル・レポートの該当部分の翻訳であり、本報告書と原文（英文）との間に相違がある場合には、原文（英文）の内容に従うこととなります。なお、原文（英文）の記載のうち、ファンドに関係しない部分を省略する場合があります。